



# 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月6日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 井筒屋  
コード番号 8260 URL <http://www.izutsuva.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 影山 英雄  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長 (氏名) 光田 昇作

TEL 093-522-3440

四半期報告書提出予定日 平成26年10月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	41,809	△0.9	763	△15.7	462	△40.8	△3,963	—
26年2月期第2四半期	42,173	△0.7	905	△39.8	780	△42.5	751	△24.6

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 △3,965百万円 (—%) 26年2月期第2四半期 749百万円 (△25.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△34.59	—
26年2月期第2四半期	6.56	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	63,303	8,185	12.9	71.43
26年2月期	68,025	12,150	17.9	106.03

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 8,185百万円 26年2月期 12,150百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	—	—	0.00	0.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,500	0.3	2,300	4.1	1,800	△9.0	△3,800	—	△33.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	114,804,953 株	26年2月期	114,804,953 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	214,302 株	26年2月期	213,179 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	114,591,397 株	26年2月期2Q	114,598,097 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

※この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますのが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性のある重要な要因には、当社グループを取り巻く商圏動向、公的規制、自然災害・事故、金利の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年8月31日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策を背景として、企業収益や雇用環境に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化、円安による原材料や原油価格の上昇等、消費マインドの減退への懸念から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

百貨店業界におきましては、大雨や気温が低めに推移するなど、不安定な天候の影響を受け、主力の夏物衣料を中心に売上は低調に推移いたしました。消費増税による駆け込み需要の反動の影響は、月を追う毎に和らいできておりますが、大都市と地方とでは、回復のペースに開きが出てきております。

こうした状況の中、当社グループにおきましては、安定的に利益を計上できる収益構造を維持・推進するとともに、効率的な百貨店経営を目指し、昨年度より「井筒屋グループ中期3ヵ年経営計画（平成25年度～平成27年度）」を策定し、推進いたしております。

また、駐車場運営の持分法適用関連会社である株式会社エビスの全株式を追加取得して完全子会社化したのち、本年5月同社を吸収合併いたしました。

本店におきましては、本年3月の婦人靴・バック売場のリニューアルを皮切りに、10月29日グランドオープンで、16年ぶりとなる婦人服フロアの大規模なリニューアルに着手しており、品揃えの強化と売場環境の改善を引き続き進めております。

コレットにおきましては、婦人服フロアに新たに4つのカジュアルブランドを導入するなど、引き続き20代、30代のお客様をターゲットとした品揃えの強化を進めております。

黒崎店におきましては、本年4月の婦人服フロアのリニューアルに加え、6月には、4階フロアに新たにABCマートメガステージを導入するなど、引き続き黒崎中心市街地に増加している30代から40代のファミリー層に対応する品揃えの強化を図っております。また、11月に店舗の魅力向上とお客様の利便性向上を目指し、本館7階に大型書店ブックセンタークエストをオープンいたします。

店外ショップにおきましては、お客様のさらなる利便性向上を目指し、10月30日に、北九州市若松区に二島ショップをオープンいたします。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は41,809百万円（前年同期比99.1%）、営業利益は763百万円（前年同期比84.3%）、経常利益は462百万円（前年同期比59.2%）となりました。

四半期純利益は、持分法適用関連会社である株式会社エビスの全株式を追加取得して完全子会社化したのち、同社を吸収合併したことにより、特別損失に抱合せ株式消滅差損4,120百万円等を計上した結果、3,963百万円の四半期純損失（前期は751百万円の四半期純利益）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4,721百万円減少し、63,303百万円となりました。これは主に有形固定資産が6,087百万円増加したものの、長期貸付金が10,426百万円減少したことによるものであります。負債については前連結会計年度末に比べて756百万円減少し、55,118百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金、借入金の減少によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて3,965百万円減少し、8,185百万円となりました。これは主に四半期純損失によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年2月期の業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており、現時点におきましては平成26年4月14日公表の通期業績予想を変更しておりません。

(注) 上記の業績予想は、この資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
持分法適用関連会社でありました株式会社エビスは平成26年5月29日付で、当社に吸収合併されたことにより消滅しました。
- (2) 四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,784	6,707
受取手形及び売掛金	1,888	2,120
商品	3,671	3,283
貯蔵品	24	20
その他	713	851
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,082	12,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,883	16,456
土地	24,083	26,473
その他(純額)	377	501
有形固定資産合計	37,344	43,431
無形固定資産		
301		226
投資その他の資産		
長期貸付金	10,863	436
その他	6,593	6,378
貸倒引当金	△160	△151
投資その他の資産合計	17,296	6,663
固定資産合計	54,942	50,322
資産合計	68,025	63,303

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,296	6,943
短期借入金	11,559	11,559
未払法人税等	82	94
前受金	7,094	7,105
その他の引当金	419	471
その他	4,635	4,860
流動負債合計	31,087	31,035
固定負債		
長期借入金	18,230	17,450
再評価に係る繰延税金負債	3,737	3,737
退職給付引当金	1,224	1,230
商品券回収損失引当金	712	706
その他の引当金	31	31
資産除去債務	440	476
その他	410	449
固定負債合計	24,786	24,082
負債合計	55,874	55,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,532	10,532
資本剰余金	11,904	11,904
利益剰余金	△16,286	△20,250
自己株式	△26	△26
株主資本合計	6,123	2,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	24
土地再評価差額金	6,001	6,001
その他の包括利益累計額合計	6,026	6,025
純資産合計	12,150	8,185
負債純資産合計	68,025	63,303

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	42,173	41,809
売上原価	31,692	31,518
売上総利益	10,480	10,290
販売費及び一般管理費	9,575	9,527
営業利益	905	763
営業外収益		
受取利息	121	59
持分法による投資利益	90	70
協賛金収入	30	39
負ののれん償却額	99	—
未回収商品券受入益	118	109
受取賃貸料	166	106
その他	85	79
営業外収益合計	712	464
営業外費用		
支払利息	341	299
売上割引	196	209
商品券回収損失引当金繰入額	91	71
地代家賃	90	48
その他	116	135
営業外費用合計	837	765
経常利益	780	462
特別利益		
固定資産売却益	8	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	8	0
特別損失		
固定資産除却損	12	86
関係会社株式評価損	—	162
投資有価証券評価損	4	—
抱合せ株式消滅差損	—	4,120
特別損失合計	16	4,370
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	772	△3,906
法人税、住民税及び事業税	22	58
法人税等調整額	△0	△1
法人税等合計	21	57
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	751	△3,963
四半期純利益又は四半期純損失(△)	751	△3,963



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	751	△3,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△0
その他の包括利益合計	△2	△1
四半期包括利益	749	△3,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	749	△3,965
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。